

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第51号 令和2年8月21日(金)

教科担任特集 ～図画工作科編…学年の垣根を越えて～

図画工作科では、5年生担当の片瀨先生にお願いして、6年生の図画工作科の指導をしていただきました。5、6年の担当2人で子ども達の指導をすることで、よりきめ細やかな指導はもちろんのこと、専門性のある指導にさらに磨きをかけて指導することができました。

「これは墨の世界です。みなさんで創っていくのです。」

6年生が2年前、お世話になった片瀨先生が担当してくださいました。今回は、2時間の間に、作品を創り、鑑賞し、そして振り返りカードを書くところまでを入れました。

お話を聞くのが上手になりましたね。

「今までの学習のように、発想してから描く学習ではないのですよ。今回は、自由に描くのです。」

「どう？こんな感じになりましたよ。」
「おお！すごい！」

「そうそう。みんながそれぞれの役割をもって、重ねていくことが大切なのですよ。」

保護者の皆様、ホームページ（Topics）でも、高学年の様子をお伝えするようにしています。いつも白黒で見にくいので、よろしければカラーでご覧になってください。週末には、ご覧いただけるように準備しておきます。依然として厳しい状況が続きますが、どうぞ体調を崩されないようにしてください。

学習を通して伝えたい、担当の思いや願いは？



グループワークを通して大きな模造紙大の和紙に作品が出来上がりました。

「みなさん、これは墨の世界です。この絵を見て、自分ならどんなタイトルをつけますか？想像してみましょう。」

子ども達は、それぞれに見えた形を作品名に記していきましました。そして、高まった思いを1枚の紙にまとめていきました。

このようにして、創造性豊かに「墨の世界」を思いっきり表現することができました。



「みなさん、2年間で大きく成長しましたね。間違えを恐れず、とても自由に、のびのびとした素晴らしい作品を創ることができました。」



「この絵はとてもおもしろいね。すばらしいね。有名な作品のようでとてもおもしろいですね。」



「作品をつくる時は、オリジナリティがとても大切です。子ども達は、コロナの影響でできないことが増えました。でも、学習内容を工夫することで、新たな学習スタイルを築き上げることができました。

今日は、とても自由な表現を楽しんでいましたね。楽しんでくれる子ども達の姿を見るのが、とてもうれしいです。図画工作科は、発想がとても大切です。決して型にはめるのではなく、この価値観を大切にしたいと思います。今の素直な気持ちを、楽しみながら形に表そうとしている子ども達の姿を見ると、とてもうれしいです。

久しぶりに6年生の子ども達に教えることができました。大きく成長していることにとても感動しました。ありがとうございました。」



作品を見ながら、満面の笑みを浮かべて片渚先生が教えてくださいました。教科担任制のよさは、このように学級担任以外の教師で、生活面はもちろんのこと、学習面を通して子ども達の成長を見守ることができることです。

今年度は2学期制のため、まもなく学期末を迎えます。しかし、子ども達にとって、さらに充実した学習内容を提供することができるように、これからも学習スタイルを工夫しながら取組を進めていきます。